

平成 22 年 11 月 18 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 22 年 11 月 18 日 (木曜日)

午後 4 時 00 分から午後 5 時 15 分まで

2 場 所 栖吉中学校 図書室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委員 内藤 博子 委員 羽賀 友信

委員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 野口 正巳 教育総務課長 若月 和浩

学務課長 武樋 正隆 学校教育課長 小野田 信子

子ども家庭課長 矢沢 康子 保育課長 佐野 勉

中央公民館長 葦澤 豊 中央図書館長 小倉 進

科学博物館 山屋 茂人 教育センター所長 山岸 文夫

教育総務課特命主幹 安部 和則 学校教育課主幹兼管理指導主 島倉 昭弘

学校教育課主幹兼管理指導主事 関谷 祐二 学校教育課主幹兼管理指導主事 山田 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 栗林 洋子 教育総務課庶務係長 新沢 達史

教育総務課庶務係 小川 瑞穂 教育総  
務課財務係 佐渡 成恵

学校教育課企画推進係 杉山 敏

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 73 号	条例改正の申出について (長岡市青少年文化センター条例の一部改正)
3	第 74 号	長岡市妊婦健康診査実施要綱の一部改正について
4	第 75 号	指定管理者指定の申出について (長岡市青少年文化センターの指定管理者の指定)
5	第 76 号	補正予算の要求について

## 7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 11 月定例会を開会する。

---

### 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び中村委員を指名する。

---

### 日程第 2 議案第 73 号 条例改正の申出について 長岡市青少年文化センター条例の一部改正について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 73 号 条例改正の申出について 長岡市青少年文化センター条例の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 議案第 73 号 長岡市青少年文化センター条例の一部改正について説明する。青少年文化センターの温水プールについては、文化センターの開館と同時に運営を始め、41 年間に渡りプールの運営を行ってきた。しかし、老朽化が著しいことがあり、今年度いっぱい温水プールを廃止したいものである。今回の条例改正は温水プールの関係を全て削除するものである。また、温水プールがなくなると使用料を徴収するのがプラネタリウムのみとなるため、別表を改正する。プールについては、これまで 1 年間かけて、団体で使用していただいていた方

と協議を重ね、それぞれ悠久山プールや、県営のダイエーフェニックスプールを使いながら、活動を継続する目途がついたため、今年度いっばいで廃止をするものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

---

日程第3 議案第74号 長岡市妊婦健康診査実施要綱の一部改正について

(大橋委員長) 日程第3 議案第74号 長岡市妊婦健康診査実施要綱の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 妊婦健康診査実施要綱の一部改正をしたいものである。現在、血液検査の項目がいくつかあげられている。この現在の項目に、HTLV-1抗体検査を追加するものである。専門用語になるが、母子感染を主な感染経路とする成人T細胞白血病の原因であるヒトT細胞白血病ウイルスがHTLV-1というウイルスである。この抗体検査をすることを妊婦健康診査の血液検査の項目に加えるものである。国の健康診査の実施要綱が改正され、国が進めている血液検査の項目の中にHTLV-1検査もしたほうがよいとされている。長岡市もこれを受け、12月1日の時点で母子手帳を持っている人を対象にこの検査項目を付け加える。現在も血液検査の際にこの抗体検査をしている方が大勢いるが、それは自費でやっていた。12月1日以降はこの抗体検査について公費で助成を行うことを考えておりそれに伴い要綱を改正し取り組んでいきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 採血回数が増えるということではないのか。

(矢沢子ども家庭課長) 増えない。1回の採血のなかで行う。

(大橋委員長) 自費でやる方が大勢いるのか。

(矢沢子ども家庭課長) それほどお金がかかるわけではなく、血液検査の中に加えると 850 円程度で、これを単独でやると 2,000 円程度とのことである。長岡市は 1 回目の血液検査の中でやってもらうこととしており、公費助成額は 850 円としている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

---

日程第 4 議案第 75 号 指定管理者の申出について 長岡市青少年文化センターの指定管理者の指定について

(大橋委員長) 日程第 4 議案第 75 号 指定管理者の申出について 長岡市青少年文化センターの指定管理者の指定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 議案第 75 号 青少年文化センターの指定管理者の指定についてお諮りする。青少年文化センターの指定管理者であるが、平成 23 年 4 月 1 日から 5 年間の指定管理者を指定することについて、これまで準備を進めてきた。7 月 30 日から 8 月 31 日の間、応募を受け付けた。その結果、2 団体から申請があった。1 団体が、現在指定管理をしている株式会社 N K S コーポレーションで、もう 1 団体が N P O 法人の新潟エジソン学園である。この 2 団体から申請があり、9 月 29 日に指定管理者選定委員会を開催した。事前に両団体から事業計画書を示してもらい、当日公開プロポーザルとして公開審査を行った。その結果、総合点において、N K S コーポレーション長岡支店が勝っていたため、N K S コーポレーションを第一順位、新潟エジソン学園を第二順位として決定した。その後、第一順位である N K S コーポレーションと子ども家庭課で、協議を進めてきたところ、協議が整ったため、N K S コーポレーションを指定したいものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 指定管理者のNK Sコーポレーションは、株式会社ということだが、どのような会社か。

(矢沢子ども家庭課長) 株式会社NK Sコーポレーションは、今回は長岡支店であるが、本社が東京にある。ビル管理を主にやっている会社であるが、現在は幅広くビル管理以外にも様々な事業をしており、長岡の指定管理者としては、青少年文化センターのほか、寺泊文化センターも指定を受けている。また見附市、上越市の文化会館等の指定管理も行っており、業務を広げている会社である。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

---

#### 日程第5 議案第76号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第5 議案第76号 補正予算の要求について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) まず、私から総括的な説明を行う。来る12月7日から市議会の12月議会が開催される予定である。教育委員会は4月から当初予算等に基づき、事業を展開しているが、これからの各課からの説明の理由により補正を行う必要が出てきた。この補正予算の請求を市長に提出したいものである。なお、この要求額は、市長へ提出した後、市長が査定を行い、議会へ提案する。実際に議会へ提案される金額が異なるかも知れないが、現時点で教育委員会として要求したいものを順次説明する。

(安部教育総務課特命主幹) 【議案書により説明】

(武樋学務課長) 【議案書により説明】

(矢沢子ども家庭課長) 【議案書により説明】

(佐野保育課長) 【議案書により説明】

(小倉中央図書館長) 【議案書により説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(内藤委員) 学務課の全国大会等出場者助成金について、昨年度の39件に比べて、今年度は69件ということだが、これは前年度より全国大会等に出場することが多くなったのか、それとも今まで申請をしてこなかったところがあったのか、どちらか。

(武樋学務課長) 両方あると思われる。全国大会だけでなく、北信越大会も対象としている。各種の大会に参加し、新潟県大会があり、北信越大会、その後全国大会となるわけだが、段階を踏んで行くため、件数は多くなる。昨年度申請があったものについては、すでに今年度申請が出ている。全国等に行くケースが増えている。

(中村委員) 保育課の白山保育園の敷地移転造成費について、白山団地は完売し、住宅も立ち始めていると聞いたが、この地盤改良工事の調査に入るとのことだが、これにより新しい保育園の建設が遅れることがないのか。

(佐野保育課長) それはない。23年度からの工事となると、議会の関係もあり6月からのスタートとなる。今の段階でできることから準備し、雪解けと同時に地盤改良工事をスタートしたい。平成24年12月までには開園したいと考えている。今の定員が90名であるが、新しくなると130名となる。現在、家を建築中の方からはそこに保育園があるから購入するというところもあると地元の説明会で聞いており、なるべく早く開園させたいため、早めに取り組みを始める。

(加藤教育長) 内藤委員から全国大会等の助成金について、質問があったが、前年よりも申請件数が増えているというのは、個人種目よりも団体種目だったため、助成金額が増えたと考えたほうがいいのか、それとも申請を忘れていたという学校があるということなのか。徹底されていないのか。

(武樋学務課長) 学校については、そういうことはない。ただし、地域のスポーツ少年団等については、申請がないこともある。全国大会等の助成金の制度の周知は春に市政だよりに掲載している。

(加藤教育長) 学校については、周知徹底するということがいいと思うが、各種の競技団体については、春の体育協会の総会があるので、その際に周知する必要がある。

るだろう。

(中村委員) 申請後、どのくらいで助成金がもらえるのか。

(武樋学務課長) 申請の書類が出ていれば、審査を行うが、それほど時間がかからない。

(大橋委員長) 教育総務課の耐震改修等について、平成 23 年度繰り越しもあり、前倒しで行うことは承知したが、これで長岡市の小・中学校に關係する耐震改修については、すべて終わるのか。

(安部教育総務課特命主幹) 耐震性が芳しくない、震度 6 強から震度 7 の大規模地震に対して、倒壊の可能性高いものについての耐震化はこれで終わる。あとは、建築基準法の中で、大規模地震に対して倒壊し、人命が損なうことのないよう、また震度 5 程度の中規模地震の際に、それぞれの建物が大きな損傷をきたさないようにとあり、保有水平耐力と必要耐力の差を比較して 0.3 という数値があるが、その倍の 0.6 は必要な耐震性を有することとしている。学校においては、0.3 から 0.6 の間のものがまだいくつかある。これについては、平成 27 年度までに耐震化を行うとしている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

---

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、平成 23 年度の新規事業について、事務局から説明を求める。

(若月教育総務課長) 説明に入る前に総括な説明を行う。今回の協議事項については、先月教育委員の皆さんに研修会ということで、予算の仕組みについてお話をさせていただいた。その中のスケジュールでお示ししたとおり、現在新年度予算の組み立てをやっている。新年度にあたり新規事業で、今現在で考えているものを来月

の定例会において詳しく説明を行うが、その前に概要を予告という意味で説明する。  
教育総務課から6課あるので、3課ずつ説明を行う。

(大橋委員長) では始めの3課について事務局からの説明を求める。

(安部教育総務課特命主幹) 【資料により説明】

(武樋学務課長) 【資料により説明】

(小野田学校教育課長) 【資料により説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 黒条地区について、現在人口が増えているが、数年先までは保育園等  
である程度の見込みがつくと思うが、その後も増える見込みはあるのか。そのとき  
にはこの広さで足りるのか。

(武樋学務課長) ある程度広い調理室を作るので、仮に今後増えても大丈夫だと思  
う。

(大橋委員長) 来年度23年度から小学校の教科書の改訂があり、再来年の24年度  
は中学校の教科書の改訂があると思うが、その配付整備について、市で基準を作っ  
ているのか。

(小野田学校教育課長) 4年前にも大量に購入しているが、その後合併し学校数が  
増加しており、かなりの金額になる。どこまで配付をするか現在検討中である。

(大橋委員長) 次の3課について事務局からの説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 【資料により説明】

(小倉中央図書館長) 【資料により説明】

(山屋科学博物館長) 【資料により説明】

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 青少年文化センターの建物診断DBとは何か。

(矢沢子ども家庭課長) 危険度判定として、一番早急に改修の必要がある。

(加藤教育長) さいわいプラザ移転とあるが、これは単独で動くのか。

(若月教育総務課長) それぞれの所管が専用に使うものについてはそれぞれの所管  
で見積もりを出すよう用地管財課からの指示がある。建物全体の移転については、  
用地管財課が行う。

(加藤教育長) 教育委員会について、科学博物館以外にはないとのことか。

( 葦澤中央公民館長 ) 中央公民館もあるが、設計業務委託を行うほどではない。

( 矢沢子ども家庭課長 ) 子ども家庭課についても大掛かりなものはない。

( 加藤教育長 ) 後でもれていたということがないようお願いする。

( 若月教育総務課長 ) 移転について、補足説明を行う。来年、市民プラザのアオーレができて、現在の本庁舎の課がアオーレに移転する課もあるし、市民センターに移転する課もある。その後の市役所庁舎を耐震補強し、中を改装して教育委員会の図書館と教育センターを除くすべての課がそろふことになる。そのように間仕切り等をして改修を行う予定である。今のところ科学博物館は、1階の右側が展示室になる予定である。入って左側は休日急患診療センターになる予定である。2階は子ども家庭課、3階は中央公民館、4階以上が事務室という現在の予定である。実際はこれからさらにつめていく。平成25年度に移転予定である。

( 大橋委員長 ) 他にないようなので、次に長谷川邸人身事故に係る和解及び賠償金の支払いについて、事務局の説明を求める。

( 山屋科学博物館長 ) 【資料により説明】

( 大橋委員長 ) 質疑、意見はないか。

( 羽賀委員 ) 不信感とはなにか。

( 山屋科学博物館長 ) 今まで事故がなかったため、対応の仕方に不備があった。また、想定外の事故であったため、説明がよくなかったと思われる。

( 大橋委員長 ) その他質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

( 大橋委員長 ) 質疑、意見なしと認める。

( 大橋委員長 ) 他に協議報告はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

---

( 大橋委員長 ) 本日は、定例会の前に英語指導室と上組小学校並びに栖吉中学校を訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

( 中村委員 ) 英語指導室のスタッフと懇談をした。初めて顔あわせたが、皆さん外国の方はフレンドリーで、明るい雰囲気、学校でやっているゲームを披露してもらい、楽しんだ。それを見た上で、上組小学校のALTの先生の授業を拝見し、その次に、栖吉中学校で、ALTの先生の授業を拝見した。その際に感じたことは、中学校

では、ALTの先生が入ると子どもたちはすごく楽しんでいる。コミュニケーションや会話を大事にしており、授業の内容は普段の担当の先生が教えてくださっている。小学校では、日本人の英語指導員の先生が、ALTの先生が日本語がわからないという部分があるんだろうが、割とJTLが関わりを持っているので、せっかくのネイティブの英語を聞き取るためにも、ALTが中心になってやってほしい。中学校ではALTが中心になっていることを見ることができたので、小学校でもぜひそうしてほしい。小学生のほうが聞き取りの力があると思う。

（羽賀委員） 栖吉中学校は、素晴らしいと思ったのが、言語教育である。言語科が得意ということの特化してワークショップ形などを取り組んでいるのは非常によかった。地域づくりの教育が、誰も介入せず、自然と行われているのが素晴らしい。理論的に物事が進んでいる。読書が好きということも驚いた。上組小学校は、有名なこだま美術館があって、それを中心にそれを文化として地域の方も尊重していることが素晴らしい。それと、あのねノートを使ったり、個別面談を行ったり、子どもと向き合う時間を大事にしていた。ALTについて気になっていたのは、「楽しい」が優先で授業を進めているかと思っていたが、そういうことはないとのことであった。「楽しい」が、それが大きなモチベーションにつながっているとのことだった。感謝している。

（内藤委員） 英語指導室は、初めて伺った。とても活気があって、子どもたちもこんな風に授業をしたら楽しいだろうなと感ずることができた。教育長の素晴らしい一面も見ることができ、これが活気につながっているとも感じた。上組小学校では、造形を一所懸命している学校で、あのねノートは普通文章で表現されやすいが、そこに造形を取り入れて、俳句にしたり短歌にしたり、自分の気持ちを取り入れて造形と一緒に伝えていることに感心した。そういった中で地域との関係がよいことと、田園風景が広がっている中で、子どもたちが思いっきり川に入ったり、研究したり、またそれを学校に持ってきて学習したり、そういった一連になって行われていることに感心した。栖吉中学校では読書もそうだが、音楽も素晴らしい学校である。これも小学校から一連でやっているとのことで、ところどころに音楽発表会の写真が貼ってあるが、私も何回か聞かせてもらったが、真剣に行っており、鳥肌が立つほどの歌声である。今日も授業を見て、ホワイトボードの使い方がユニークであった。子どもたちの力が

つくだろうと感じさせてもらった。地域の関連もうまくいっているようで、このままいい環境の教育ができたらと思う。

(大橋委員長) 英語指導室は、初めてお邪魔した。吉川先生が非常にかんばっていて、また杉山先生もがんばっているの、いい形で進んでいると思った。小学校での授業を見た際に、JTLについて、学級担任もいる中で、いたほうがいいのかどうか気になった。もっと、学校とALTと子どもがうまく接していく方法はないのか疑問に感じた。中学校の授業は、さすがであった。学校についてであるが、どちらの学校も生徒と先生が真剣に取り組んでいた。上組小学校は、地域の特性を生かしたということを書いていたので、一つ質問をした。「地域の特性を生かす」とはどういったことか、と聞いたところ、文化的造形的要素、サフラン建造物、東地域全体を造形的な線が結ばれるすばらしさは伝統的であり、それが特性であるとのことであった。学校の特色としてはそれでいいのかも知れないが、学校が地域に出向いているとのことで、一体的でいいと思った。「地域の特性」というよりも「学校の特色」、校長の采配のいい形であり、今後も続けてほしいと思う。ただ、歴史の学習について少し気になった。栖吉中学校は、自然も豊かで、地域も一生懸命で、小・中連携も大事で、やることがいっぱいあるが、もっと重点づけて、特色ある学校にしてほしいと思う。

(加藤教育長) 中学校は、本当に一所懸命で安心した。遠い子は、通学距離が2kmちょっととのことだが、徒歩とのこと、うれしく感じている。帰りの時間は、暗くなるので、できるだけ明るい服装を心がけるよう学校から指導をしてほしい。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員